

11月10日 創世記13章1～18節

「あなたにこの土地を与える」

私たちは、たとえ勲章を与えられていても、土地を持っていたとしても、人生の終わりにそのすべてを手放し神様の前に何も持たずに出ることになります。そこで私たちは「何を持っていたか」「何物であったか」ではなく、「何をしてきたか」を神様に問われることになります。

今日の聖書個所以降には、飢饉から逃れるためにエジプトへ向かったアブラム、後にアブラムと呼ばれる彼が、多くの財産をもってエジプトから戻り、遊牧民で流浪の民であった彼が自分の土地を手にするまでの出来事が記されています。

最終的に、アブラムは甥のロトに豊かな土地を譲った後、残った土地で神様からの言葉を受けます。以前神様から言われた「あなたの子孫にこの土地を与える」という言葉以上に規模が大きい、「東西南北の見える土地全てを与える」という言葉をアブラムは神様から与えられました。アブラムは、このように土地を得る約束を与えられたことによって、この後どのように変化したのでしょうか。普通の人間であれば、すでに財産もある中で土地まで与えられれば、まさに自分が王様になったかのような、権力者のような振る舞いを始めるかもしれません。

しかしそうではありませんでした。約束された息子も与えられ、財産もあるアブラムは、しかしおごり高ぶることなく神様の言葉に忠実に生き続けました。与えられたすべてを自分のものとして自分勝手にしていいと考えるのではなく、すべてが神様から与えられたものであるという謙虚な姿勢を崩さなかったのです。

アブラムと同じように、それ以上に信仰の姿勢を崩すことなく、この世での命のすべてを神様のために使い続けた方が、私たちの主であるイエス・キリストであります。イエス様は、人として生まれた神として誰よりも高い身分でありながら謙遜に生き、誰よりも下であるかのように人々に仕え続けました。ただ弟子を派遣して言葉を伝えるだけではなく、自分の足で歩き、その手で病人に触れ、病を治して、すべての人の僕として歩んだ方です。「あなたがたのうちでいちばん偉い人は、仕える者になりなさい」というその言葉を、その身をもって教え続けました。私たちもまた同じように、神様の前で自分のことを誰かよりも上であるとおごることなく、信仰に従ってまっすぐに歩み続けたいものです。それが、神様から救いを約束されているものとして求められる、全ての信仰者が心がけるべき姿勢なのだと思います。

私たちは、人生の終わりを迎えるにあたって、天の国に何かを持っていくことは出来ません。神様の前に出すことが出来るのはこの身一つであり、私たちが生きてきたこの人生、そのすべての信仰を神様の前に見せることになります。ただ、私たちは生きてその後に、多くのものを残すことが出来ます。それは土地などの財産についての話ではなく、神様の前に見せるその姿、「どう生きてか」というその姿を、私たちの子どもに、孫に見せることによって、私たちが生きてその証しをこの世界に刻み付け、神様を信じることによって教えられている恵み大きさを誰かに伝えることが出来るのです。

それが、イエス様を主と仰ぎ、神様の恵みの大きさを教えられ、イエス様のように生きたいと願う私たちが与えられた生き方があります。この人生の初めから終わりまでが神様に守られているその事を心強く思いながら、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：創世記 13 章 1～18 節

- 1:アブラムは妻とすべての持ち物を携え、エジプトを出て、ネゲブに上った。ロトも彼と共に上った。アブラムは家畜と金銀に非常に富んでいた。彼はネゲブから旅路を進めてベテルに向かい、ベテルとアイの間の、さきに天幕を張った所に行った。すなわち彼が初めに築いた祭壇の所に行き、その所でアブラムは主の名を呼んだ。アブラムと共に行ったロトも羊、牛および天幕を持っていた。その地は彼らをささえて共に住ませることができなかつた。彼らの財産が多かつたため、共に住めなかつたのである。アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間に争いがあつた。そのころカナンびととペリジびとがその地に住んでいた。アブラムはロトに言った、「わたしたちは身内の者です。わたしとあなたの間にも、わたしの牧者たちとあなたの牧者たちの間にも争いがないようにしましょう。全地はあなたの前にはありませんか。どうかわたしと別れてください。あなたが左に行けばわたしは右に行きます。あなたが右に行けばわたしは左に行きましょう」。ロトが目を上げてヨルダンの低地をあまねく見わたすと、主がソドムとゴモラを滅ぼされる前であつたから、ゾアルまで主の園のように、またエジプトの地のように、すみずみまでよく潤っていた。そこでロトはヨルダンの低地をことごとく選びとって東に移つた。こうして彼らは互に別れた。アブラムはカナンの地に住んだが、ロトは低地の町々に住み、天幕をソドムに移した。
- 13:ソドムの人々はわるく、主に対して、はなはだしい罪びとであつた。ロトがアブラムに別れた後に、主はアブラムに言われた、「目をあげてあなたのいる所から北、南、東、西を見わたしなさい。すべてあなたが見わたす地は、永久にあなたとあなたの子孫に与えます。わたしはあなたの子孫を地のちりのように多くします。もし人が地のちりを数えることができるなら、あなたの子孫も数えられることができます。あなたは立って、その地をたてよこに行き巡りなさい。わたしはそれをあなたに与えます」。アブラムは天幕を移してヘブロンにあるマムレのテレビンの木のかたわらに住み、その所で主に祭壇を築いた。